



母校訪問で自衛隊をPR



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）は、5月1日（月）、菅沼宏太²等海士の母校訪問を支援した。

菅沼²士は、今春県立浜名高校を卒業し、一般曹候補生として海上自衛隊に入隊した。今回ゴールデンウィークの休暇を利用して学校訪問を行い、同校の進路課長・鈴木高浩教諭をはじめ、恩師である竹屋信彦教諭等と面会し、入隊後の充実した教育隊での生活や訓練の様子等の近況を直に報告した。

出迎えた教諭たちは、約1ヶ月ぶりに会う教え子の凛々しい濃紺のセーラー服姿に思わず笑みがこぼれるとともに、短期間での成長ぶりに驚きの表情を見せていた。

また、所属していた水泳部も訪れ、見慣れない海上自衛隊の制服姿に後輩達から「カッコいい」「とても似合っている」と声が上がると、照れながらも教育隊での生活や楽しさ、魅力等を存分に伝え、受験を控えている後輩達にエールを送った。

静岡地本は、今後も入隊者の母校訪問を積極的に支援して自衛隊に対する理解促進を図るとともに、入隊者の自衛隊での成長を通じて自衛隊で働くことの魅力や任務の重要性を直接伝え、後輩の志願に繋げていく。

兄を追って自衛隊員へ「3兄弟」が事務所を訪問



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）静岡募集案内所は、ゴールデンウィーク中の5月1日（月）、自衛隊に入隊・入校した静岡市出身兄弟の来所を受けた。

事務所を訪れたのは、朝霞駐屯地（東京都）東部方面通信群で勤務している長男・小林大輝³等陸曹と、今春入隊・入校した板妻駐屯地（御殿場市）第34普通科連隊教育隊で教育を受けている次男・小林倉自衛官候補生、陸上自衛隊高等工科学校（横須賀市）に入校した三男・小林歩夢生徒。高等工科学校の前身である少年工科学校に入校後、自衛官として任務に精励する兄の姿を見て、弟2人も同じく自衛官の道を志した。

今春入隊・入校したばかりの2人は、現在の教育や生活について「入った当初は慣れない環境での生活をつらく感じたが、それと同時に乗り越えたことで、今はやりがいへと変わっている」と力強く語った。兄弟3人が共に陸上自衛隊へ入隊・入校したことで、共通の話題もでき、今まで以上に絆が深くなり何でも話せる関係になったという。

近況報告を受けた広報官は、これからも兄弟の絆を大切に、互いに切磋琢磨して自衛隊員として高めあえるよう激励した。

静岡地本は、今後も県内出身隊員と家族双方の架け橋として親身なサポートに努めるとともに、熱意を持って自衛官の道を目指す若い志望者の獲得に邁進していく。